

自然資源経営学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、人類の生存にきわめて重要な自然環境と生物産業が調和した持続可能な循環型社会を構築するために、経営学を中心とした社会科学の理論的・実践的な学びと研究を通して、広く社会に貢献できる人材を養成する。

2. 教育目標

自然資源経営学科は、その教育研究上の目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 広義の農学である生物産業学を基盤とした自然資源経営学における専門知識と技術を有する者
- (2) 専門家としての責任を自覚し、実学主義のもと問題解決能力と意欲を有する者
- (3) 適切なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力を有し、社会貢献ができる者

3. ディプロマ・ポリシー

自然資源経営学科は、北海道オホーツク地域という自然資源に恵まれたフィールドを活かし、生物産業と自然環境が調和した持続可能な循環型社会を構築することを教育研究上の目的として、広く社会に貢献できる人材を輩出します。この目的の達成に向けて自然資源を活かした産業を支える経営学を学び、社会の問題解決に取り組むコミュニケーション力を身に付けた者を養成することを目標とし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然資源を活かした農林水産業、食品加工業、観光業、環境ビジネスなど、生物産業を支える経営学の専門知識および自然環境と調和した地域社会の活性化に関する専門知識を有している。
- (2) 演習・実習科目による実践的学習や体験的学習を通して、社会を見る広い視野、他者の意見を尊重しつつ、自らの意思を適切に表現できる力を有している。
- (3) 生物産業と自然環境に関する課題を設定し、情報収集力や論理的思考力、問題解決力、文章表現力およびコミュニケーション力を有している。
- (4) 修得した専門知識や実践経験を活かし、学修の成果を広く社会に還元し活躍しうる力を有している。

4. カリキュラム・ポリシー

自然資源経営学科は、生物産業（生産-加工-経営）を一貫して学ぶための「専門共通科目」とともに、実学を重視した「専門基礎科目」、「専門応用科目」および「総合化科目」の体系的な履修を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針の下に教育課程を編成します。

- (1) 経営学・経済学をはじめとする社会科学の理論や分析手法を修得するための科目を配当する。
- (2) 持続可能な循環型社会の構築に寄与できる担い手として必要な専門知識を修得するための科目を配当する。
- (3) 生物産業の持続的発展に寄与できる担い手として必要な専門知識を習得するための科目を配当する。
- (4) オホーツク地域の自然環境を活かし、自然環境と調和した地域社会の活性化に寄与できる担い手として必要な専門知識を修得するための科目を配当する。

5. アドミッション・ポリシー

自然資源経営学科は、人類の生存にきわめて重要な生物産業と自然環境が調和した持続可能な循環型社会を構築するために、経営学を中心とした社会科学の理論的・実践的な学びと研究を通して、広く社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本学科では、次のような学生を求めています。

- (1) 本学の教育理念である実学主義のもとで、将来、地域や組織を通じて社会に貢献したいという強い意思を有している。
- (2) 生物産業の持続的発展や自然環境との共生に関心を持ち、明確な問題意識と強い学修意欲を有している。
- (3) 心身共に健全で自立した社会生活ができ、人間関係の構築を可能にするコミュニケーション力を有している。
- (4) 高校までの基礎学力を修得している。